

JOMF 派遣医師便り (2016. 5)

◆ジャカルタ◆

チルボンへ

JJC 医療相談室

伊藤 通敏

インドネシアで公式の場に出席する際、
男性の服装は、ジャケット着用、又は、バティック着用となっています。
ジャケット着用は、さすがに暑いと思われます、それに比べて、バティック着用は、
インドネシアの気候に合った、暑さをしのげる服なのです。
テレビで見るインドネシア大統領や官僚の方の服装は、
ほとんど全てと言っていいほど、皆さん、バティックを着用されています。

バティックを持っていない私は、考えました、(インドネシアに住んでいるからには、
直接産地に行って、バティックを購入しようではないかと。)

バティックの有名産地は、ジャワ島では、ジョグジャカルタ、ソロ、チルボンです。
ジョグジャカルタ、ソロは、ジャカルタから少し遠いのですが、
チルボンは、ジャカルタから東に約 300 キロ、電車で、約 3 時間で行けるので、
一泊二日の小旅行に最適と、チルボン行きを決めました。
宿は、インターネットで、チルボン駅近くの、近代的で良さそうなホテルを予約。
さて次は、ジャカルタ～チルボン往復の電車チケットの購入です。
インドネシアの鉄道の web 検索から、ジャカルタ～チルボン間には、
チルボン特急があると分かったのですが、サイトからチケット購入はできなく、
さて、どの様にして購入すればよいやら、よく分かりません。
アパートから、始発駅のガンビル駅まではさほど遠くなく、自転車で行けそうなので、
自転車に乗って、とりあえず、ガンビル駅に向かうこととしました。
ガンビル駅までの道路は、3～4 車線もあり広いのですが、車やオートバイが大変多く、
自転車では、その間隙をぬって走らなければなりません。
どうにかこうにか、やっとのことでガンビル駅に到着。
さて、次は、どこでどうやってチケットを買うかです。
チケット売り場には、当日券売場 & 前売り券売場があり、
二つは全く違う場所にあると、近くにいたインドネシア人に教えてもらい、
その前売り券売場にいてみると、長蛇の列が。
右往左往していると、横にある機械で順番券を発券して待つのだと、
インドネシア人が、またまた、教えてくれました。
そこで、順番券を発券して、番号を見てみると、順番は先の先なのです。
仕方なく待つこととしました。

[以下、続く]